

世界報道写真展2016 出展作品リスト (No.1~28)

パネル	写真家	国籍	カテゴリー	内容
1	サミール・ドゥミー	シリア AFP通信	「スポットニュース」の部 組写真1位	シリアのダマスカス近郊、反体制派が掌握する東グータ地区にあるドウマをはじめとする小さな町々は、激しい爆撃と砲撃に見舞われた。
2				
3 左	マウリシオ・リマ	ブラジル ニューヨーク・タイムズに提供	「一般ニュース」の部 単写真1位	クルド人支配地区にあるハサカの病院で、「イスラム国（IS）」と称するグループに属す16歳の戦闘員ヤコブのやけどに軟膏を塗る医者。
3 右	ポール・ハンセン	スウェーデン ダーゲンス・ニューヘテル紙	「一般ニュース」の部 単写真2位	暗闇の中、トルコからギリシャのレスボス島にボートで到着した難民を手助けするボランティアたち。
4	ダリオ・ミッチャエリ	イタリア CAFODに提供	「人々」の部 単写真3位	レバノンのベカ高原の難民キャンプで、椅子の横に立つシリア人家族。空いた椅子は、行方不明となっている家族の存在を示している。
5	アブド・ドゥマニー	シリア AFP通信	「一般ニュース」の部 組写真2位	シリアでの内戦は5年目に突入し、反体制派の最大拠点であるダマスカス近郊の町ドウマは、絶えず爆撃の標的となっている。
6	ピュレント・クルチ	トルコ AFP通信	「スポットニュース」の部 組写真3位	2011年のシリア内戦勃発当初、トルコは戦闘から逃れてくる人々の受け入れに対し、緩和政策を取っていた。2015年6月、シリア北部で新たな戦闘が生じ、国境を超える民間人が激増すると難民流入を制限するトルコの施策が開始された。
7	セルゲイ・ボノマレフ	ロシア ニューヨーク・タイムズに提供	「一般ニュース」の部 組写真1位	2015年にヨーロッパへ流入した難民は100万人を超えた。ギリシャに到着した難民の多くはバルカン半島の国々を経由するが、ハンガリーでは、セルビアとクロアチアとの国境を相次いで閉鎖した。
8				
9	マティック・ゾーマン	スロベニア共和国	「人々」の部 単写真1位	セルビア・プレシェボの難民キャンプで難民申請の登録を待つ両合羽をかぶった少女。
10	フランチェスコ・ジソラ	イタリア、ヌールより国境なき医師団に 提供	「現代社会の問題」の部 組写真2位	ここ数年、難民はリビアとイタリアを結ぶ地中海域を、長い航海に適さない船に乗って渡ってくることが多い。2015年には、14万人近くがリビアからイタリアへ上陸したが、2,800人以上が海を渡る最中に溺死した。
11				
12	マグナス・ウェンマン	スウェーデン アフトンブラッド紙	「人々」の部 組写真3位	新たな居住地に向けた長い旅路の途中、眼れるところを見つけて睡眠をとる難民の子どもたち。
13				
14	ウォーレン・リチャードソン	オーストラリア	世界報道写真大賞 「スポットニュース」の部 単写真1位	セルビアとハンガリーの国境を越えようとするシリア難民の男性と子ども。国境の有刺鉄線付きフェンスができる前に、ハンガリー側へ渡ろうとする群衆の中にいた。
15	マリオ・クルーズ	ポルトガル	「現代社会の問題」の部 組写真1位	セネガルでは、イスラムの教義を教える全寮制の学校をダーラと称す。学校への規制はほとんどなく、その多くは劣悪な状況にある。生徒は過剰収容かつ不衛生な環境のもと餓死寸前の状態で生活している。
16				
17	コレントイン・フォーレン	フランス ダイバージェンス	「スポットニュース」の部 単写真2位	仏週刊新聞「シャルリー・エブド」の襲撃に始まり、首都パリをおそった一連の事件後に起きた反テロを訴えるデモ風景。
18	チェン・ジー	中国 北京新聞	「一般ニュース」の部 単写真3位	中国北東部天津港の運送会社のコンテナ置き場で起きた爆発の跡地に残る巨大な穴。そして爆発の影響を受けた車両とビル。
19	ケビン・フレイヤー	カナダ ゲッティイメージズ	「日常生活」の部 単写真1位	中国山西省北部、石炭火力発電所の近隣で三輪の車を引く男性。石炭燃料への依存が高い中国は、世界の二酸化炭素排出量の三分の一を排出している。
20	ツアン・レイ	中国 天津日報	「現代社会」の問題の部 単写真1位	12月、中国北東部の天津市に立ちこめるスマogの雲。北京や天津をはじめとする中国の複数の都市では、12月の1ヶ月間を通じて警報が発せられた。
21	ロハン・ケリー	オーストラリア デイリー・テレグラフ	「自然」の部 単写真1位	11月6日、シドニーのボンダイビーチに接近する巨大なシェルフ雲（塊雲）。この雲は激しい雷雨をもたらす前線の一部で、地元メディアは、突風、ゴルフボール大のひょう、豪雨の発生を報じた。
22	セルジオ・タビロ	メキシコ	「自然」の部 単写真3位	12月13日、飛び散る岩、熔岩、溶岩流を伴って噴火するコリマ山。コリマ山はメキシコで最も活発な火山のひとつに数えられており、7月以降、火山活動が活発化していた。
23 左	ゾーレ・サベリ	イラン メヘル通信	「日常生活」の部 単写真3位	生まれつき目の見えないラヘレ（13歳）は窓の後ろに立ち、顔に当たる朝日の暖かさを楽しんでいる。色彩を見分けることはできないが、昼には光を、夜には暗闇を感じることができる。
23 右	マテヤ・クリヴィク	スロベニア	「人々」の部 単写真2位	アルズマ・ティンダノ（28歳）は小規模な金鉱山デウガで、8人の採鉱労働者を東ねている。およそ1万5,000人が地中に掘られた穴の中で働いており採鉱者は絶えずほこりを吸い続け、有毒な水銀とシアン化物にさらされる。
24	マウリシオ・リマ	ブラジル アルジャジーラ・アメリカに掲載	「日常生活」の部 単写真2位	ブラジル・アマゾン流域のタバジョス川で遊ぶ、ムンドゥルク族の子どもたち。タバジョス川は、アマゾン川の中でもダムを設けずに残されている最後の支流のひとつであるが、ブラジル政府は水力発電所の建設を計画している。
25 左	ニクラス・ハマーシュトロム	スウェーデン	「スポットニュース」の部 単写真3位	ギャングの銃撃で命を落として横たわる男性。ホンジュラスは過去10年にわたり、殺人事件による死者数が世界で最も多い国となっている。
25 右	エイドリアン・オーネシアン	アメリカ	「現代社会の問題」の部 単写真2位	スーザン・ダルフル州中部の反乱軍占拠地区ブルグに家族とともに住むアダム・アブデル（7歳）は、政府機関が落とした爆弾が家の横に着弾し大やけどを負った。
26	ジョン・J・キム	アメリカ シカゴ・トリビューン	「現代社会の問題」の部 単写真3位	警官による人種差別の暴力に対するデモ行進で、巡査部長をにらみ付けるレイモン・レッコード。
27	セバスチャン・リスト	スペイン、ヌールより提供、 ニューヨーク・タイムズ・マガジンに掲載	「日常生活」の部 組写真3位	リオデジャネイロのファヴェーラ（都市の貧民街）での警官の発砲は日常茶飯事のため、ほとんど報道されない。そのため変革を目指す活動家達による組織がソーシャルメディアを通して配信している。
28	ロベルト・シユミット	コロンビア ドイツ、 AFP通信	「スポットニュース」の部 組写真2位	4月25日にネバールを襲ったマグニチュード7.8の地震により引き起こされた巨大な雪崩。雪崩はエペレスト南部のベースキャンプを押し流し、死者は20人以上、負傷者はそれ以上の数に上った。

世界報道写真展2016 出展作品リスト (No.29~62)

パネル	写真家	国籍	カテゴリー	内容
29	ケビン・フレイヤー	カナダ ゲッティイメージズ	「日常生活」の部 組写真2位	中国四川省、標高4,000メートルの山奥のカンゼ・チベット族自治州にあるラルンガル僧院。数千のチベット仏教徒は、年に一度、1週間にわたり開催される仏法を祝う集会のためにラルンガルへ足を運ぶ。
30				
31	ダニエル・ペレラク	オーストラリア、 ニューヨーク・タイムズに掲載	「一般ニュース」の部 組写真3位	4月25日、マグニチュード7.8の地震がネバールの首都カトマンズの北西部を襲い、死者は8,000人以上、負傷者はおよそ2万1,000人に上り、首都では家屋、建物、寺院が倒壊し、郊外の山岳地区も激しい被害に見舞われた。
32				
33	ダニエル・ペレラク	オーストラリア ニューヨーク・タイムズに掲載	「日常生活」の部 組写真1位	南極大陸は科学的な保全地区に指定され、自由に調査し、科学的観測結果を交換することができる保全地区に指定されている。チリ、ボーランド、ロシアを含む多くの国が、南極海のキングジョージ島に観測基地を設置している。
34				
35	アヌアル・バトジェン・ フロリウク	メキシコ	「自然」の部 単写真2位	メキシコ太平洋沖のレビジャヒヘド諸島で最小の島ロカ・バルティダ島近くで泳ぐ、ザトウクジラと生まれたばかりの子ぐら。
36	ティム・レーマン	アメリカ ナショナルジオグラフィックに掲載	「自然」の部 組写真1位	伐採行為や農地への転用、山火事により森林が奪われ、オランウータンの生息環境は危機に瀕している。さらに、ペット用の不法取引の対象として密猟もされている。
37				
38	ブレント・スタートン	南アフリカ ゲッティイメージズ・ルポルタージュ、 ナショナルジオグラフィックに掲載	「自然」の部 組写真2位	アフリカ全土にわたり、象牙の密猟取引は武装した反乱民兵の資金源となっている。そのため、特別レンジャー隊が最前線に立ち、密猟取引の阻止に当たっている。
39				
40	クリスチャン・ ツィーグラー	ドイツ ナショナルジオグラフィックに掲載	「自然」の部 組写真3位	カメレオンは熱帯雨林から沙漠、また亜熱帯の海岸線から4,000メートルの山岳地にまで広範囲に及び生息する。しかし、世界のカメレオン種の3分の1以上が、絶滅の危機に瀕しているとされている。
41				
42	小原一真	日本	「人々」の部 組写真1位	チエルノブリ原原子力発電所事故の5ヵ月後、南に100キロ離れたキエフでマリヤという女の子が生まれた。彼女は、放射線障害のひとつである慢性甲状腺炎に苦しめられながら成長した。2015年4月、小原氏はプリビャチで、彼のアシスタントが見つけた1990年代以前のカラーフィルムを使って撮影を開始した。小原氏はこれらの写真により、マリヤが経験してきたような目に見えない問題を人々に想像して欲しいと願っている。
43				
44	ダニエル・オチョア・ デ・オルサ	スペイン AP通信	「人々」の部 組写真2位	スペイン・マドリード郊外で行われるラス・マヤの祭典。白いブラウスとスカート、ミニショールなどを身につけ、真剣な表情で祭壇に静かに座る「マヤ」に選ばれた少女たち。
45	サラ・ナオミ・ ルーコビッツ	アメリカ ゲッティイメージズ・ルポルタージュ	「現代社会の問題」の部 組写真3位	同性婚で結ばれたエミリーとケイトはニュージャージー州のメイブルウッドに暮らしている。ケイトは体外受精治療を受けていたが、効果が見られなかった。そのためエミリーに、同じように精子ドナーを使って、体外受精に挑戦するように頼んだ。その結果、二人は同時期に妊娠することになった。
46	ウラジミール・ベースニヤ	ロシア スプートニク	「スポーツ」の部 組写真1位	「HO・ヴェトルガ」は、ロシアの小さな町のアマチュアアイスホッケーチーム。小学生から年金生活者まであらゆる年齢層の人々から成り、試合は屋外にある氷をフェンスで仕切ただけの区画で行われる。
47				
48	ヨナス・リントクヴィスト	スウェーデン ターゲン・ニューヘテル紙	「スポーツ」の部 単写真3位	クリスマス前のルシア祭典で帆船のポーズでパフォーマンスする「ネブチーンスイミングクラブ」のシンクロナイズド・スイミング部のメンバー。4歳から85歳に至るまで、100人近くがメンバーに入っている。
49	クリスチャン・バーグラム	オーストリア GEPAピクチャーズ	「スポーツ」の部 単写真1位	チェコのスキーヤー、アンドレイ・パンクは、2月8日にアメリカ・コロラド州ビーバークリークで開催されたFISアルペンスキーワールドカップで優勝した。
左				
50	クリスチャン・ボブスト	スイス	「スポーツ」の部 組写真2位	セネガル相撲はセネガルで最も人気の高いスポーツで、大手スポンサーが支援し多くのメディアが報道する。優勝賞金は数十万ユーロにも達し、力士は国のスターとなり巨額の富を得ることができる。
51				
52	タラ・トドラス・ホワイトヒル	アメリカ ニューヨーク・タイムズに掲載	「スポーツ」の部 組写真3位	「エボラ出血熱生存者フットボールクラブ」は、エボラ出血熱の生存者に対する支援ネットワークを提供するとともに、地域社会から受けける偏見との闘いも支援している。
53				
54	メアリー・F・カルバート	アメリカ ZUMAプレス アレクシア財団	「長期取材」の部 1位	内なる闘い：米軍内では女性に対する性的暴行事件が頻発している。性的暴行について指揮官に訴えることは困難、もしくは無駄だと考える女性は多く、報告があった場合でも法廷にまで持ち込まれることはほとんどない。軍隊での性的トラウマ(MST)は、長期にわたり精神的な問題を引き起こす可能性がある。
55				
56				
57	ナンシー・ポロウイック	アメリカ	「長期取材」の部 2位	死の中の生活：ロウエル・ポロウイックとハウイー・ポロウイックは、34年間の結婚生活の最後の1年を、ともにがんと闘いながら生き抜いた。最後の数ヶ月間を、病気という自分たちの問題に心を占められて過ごすより、新たな思い出をつくりながら時間を過ごす方がいいと考えた。ハウイーは12月7日(2013年)、ロウエルは12月6日(2014年)に亡くなった。
58				
59	デイビッド・ グッテンフェルダー	アメリカ、AP通信 ニューヨーク・タイムズ ナショナルジオグラフィックに掲載	「長期取材」の部 3位	北朝鮮 金(キム)体制を操拌する生活：この60年間、北朝鮮は世界でも最も孤立し、秘密主義を貫く国家のひとつに数えられてきた。北朝鮮メディアは厳しく規制され、海外報道機関はほとんど取材を制限してきた。しかしグッテンフェルダー氏は取材が認められている稀有な存在で、2008年から2015年の間に約40回にわたって北朝鮮を訪問している。
60				
61				
62				

※ 組写真作品ではキャプションの一部が重複しています。
 ※ パネルの番号と展示の順番は一致しておりません。